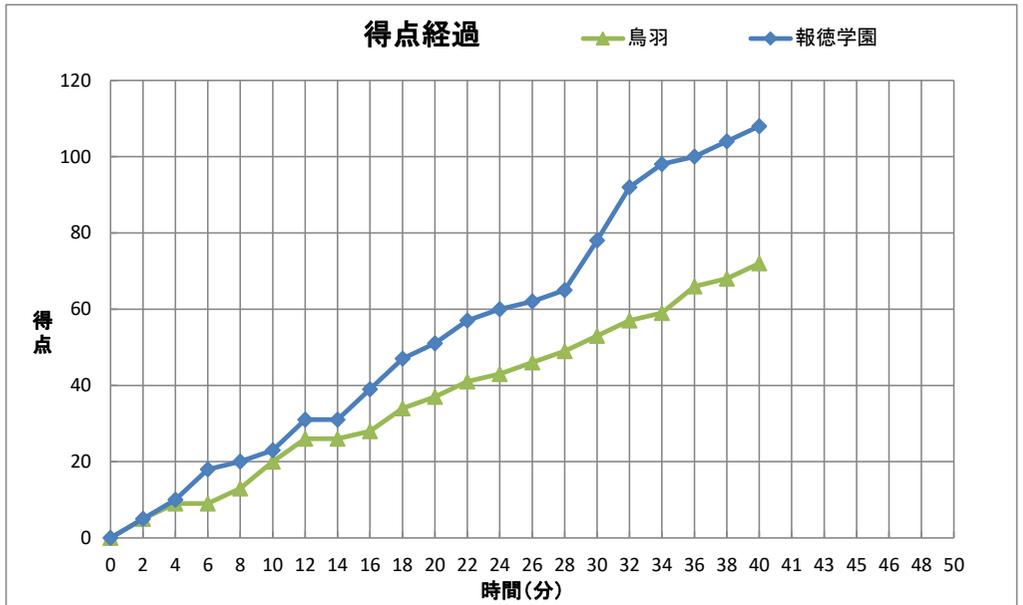




令和3年度
第68回近畿高等学校バスケットボール大会

個人トータル表

男子		6月26日				14:00 開始							
準々決勝						G							
鳥羽		72				108				◎ 報徳学園			
		20 1st 23											
		17 2nd 28											
		16 3rd 27											
		19 4th 30											
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
18	石田 隼大	-	-	-	-	-	* 2	中野 椋太	3	1	0	0	3
2	千代 健斗	0	0	0	0	1	* 4	長瀬 嵩斗	5	1	0	2	0
3	北山 裕太	6	0	3	0	1	* 11	テープス 流河	26	2	8	4	3
12	倉橋 輝	0	0	0	0	0	18	鷲池 太陽	0	0	0	0	0
* 13	半田 西之介	21	1	7	4	2	39	荒木 隆暢	0	0	0	0	0
22	井爪 陸大	2	0	0	2	2	* 23	溝上 恵大	38	5	9	5	2
* 23	林 翔	12	0	4	4	1	24	江岡 愛登	4	0	2	0	2
34	榊田 夕陽	4	0	2	0	0	28	白浜 大志郎	5	0	2	1	5
* 39	松吉 周汰	0	0	0	0	3	30	谷岡 昇磨	3	0	1	1	0
60	奥田 晴大	11	0	4	3	1	31	岩崎 流成	4	0	2	0	0
66	関口 宏登	0	0	0	0	1	33	陶延 蒼	3	1	0	0	0
70	吹田 陸斗	2	0	0	2	0	* 34	西村 陽太朗	2	0	1	0	3
88	定影 正大	0	0	0	0	0	46	小林 裕斗	15	5	0	0	1
* 91	杉村 真瞳	12	0	4	4	2	13	星原 甲治	0	0	0	0	1
* 92	半田 桃志郎	2	0	1	0	3	65	川上 修平	0	0	0	0	1
コーチ	福嶋 一夫					0	コーチ	田中 敬					0
Aコーチ	水谷 正示						Aコーチ	更谷 知則					
合計		72	1	25	19	17	合計		108	15	25	13	21
主審: 岩木 太郎 副審: 上西 星太 副審: 片山 峻													



CTO	1・2P	3・4P	OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	14:21	31:18				
TeamB		29:19				

〔戦評〕
 第1Q、兵庫県予選を制した報徳学園と京都府予選3位の鳥羽の対戦。報徳学園#23溝上のジャンプシュートでゲームスタート。報徳学園は1-2-2のゾーンプレスからマンツーマンディフェンス。鳥羽は、#13半田のゲームメイクがさえ、#91杉村を中心にインサイドにボールが集まる展開。鳥羽は疲労からミスが続き得点が進まないが報徳学園#11テープスのペネトレイトからのインサイドアウトでリズムよくシュートが決まる。鳥羽は終盤オフェンスリバウンドを#60奥田#91杉村が量産し着実に点をつないでいく。
 第2Q、報徳学園は1Qと同様1-2-2のゾーンプレス鳥羽は3-2のゾーンからスタート。鳥羽は、パスミスから点を重ねられタイムアウト。タイムアウト後#11テープスの連続得点もすぐさま#13半田が返す。鳥羽は3P(シュート)がなかなか決まらないがオフェンスリバウンドから得点を重ねる。報徳学園14点リードで後半へ。
 第3Q、前半同様報徳学園は1-2-2のゾーンプレス、鳥羽は3-2のゾーンからスタート。鳥羽はディフェンスリバウンドから#13半田、#22井爪の早い展開で仕掛けていくがターンオーバーが続く、逆に報徳に速攻を許しさらに点数を広げられ最終Qへ。
 第4Q、報徳学園#23溝上の4連続得点から、鳥羽はたまたまタイムアウト。#91杉村を中心に点を重ねていくがリズムよく報徳学園に得点を重ねられた。報徳学園は、鋭いペネトレイトから得点が取れ、効果的に3P(シュート)が決まり素晴らしい試合内容となった。鳥羽もインサイドを中心に粘り強く頑張れたが悔しい結果となった。